

1 基本項目	事務事業名				産業観光推進事業	担当部署	課等名	商工観光課					
	予算事業名				産業観光推進事業		係名	商工労働・企業立地係					
	新規・継続区分				継続事業		電話番号	0765-23-6195					
	事務区分				自治事務		会計	一般会計					
	事業期間				開始年度		平成29年度	終了年度	当面継続	款	商工費		
	総合計画	目標名					目標3. 輝くまち				項	商工費	
		政策名					政策10. 魅力発信と交流のまちづくり				目	商工振興費	
		施策名					施策22. 観光の振興				総合計画主な事業		
		基本事業名					基本事業22－1. 地域資源のブランド力向上				総合戦略との関連		
	根拠法令								集中プランとの関連				
アウトソーシング導入状況				アウトソーシング導入済（業務委託）				評価対象年度の重点事業					
								非該当					

2 事業概要	事業概要	市内企業を市民等に知ってもらい、認知度の向上や就職につなげることを目的に産業観光を実施する。						
	対象	市内事業所						
	手段 （活動指標）	市内事業所を対象とした産業観光ツアーを開催						
	意図 （成果指標）	市内外の方にツアーへ参加してもらうことで市内企業の事業内容等を広く周知していき、将来的な雇用の確保につながるとともに、ツアーを受け入れた企業においては、従業員のモチベーション向上が図られる。						

3 指 標	活動指標名・成果指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			R7年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 産業観光ツアー実施回数	回	3	3	3	2	66.7%	3
	成果	②							
		① 産業観光実施事業者	個所	14	14	15	8	53.3%	9
		② ツアー参加人数	人	80	99	80	40	50.0%	60

4 コスト情報	区 分		単位	R4年度	R5年度	R6年度			R7年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	当初予算額
	事業費 財源内訳	事業費合計 (A)	円	123,284	158,440	159,000	123,500		459,000
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円		31,000	40,000	30,000	-3.2%	
		⑤一般財源	円	123,284	127,440	119,000	93,500	-26.6%	459,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	—	0.0%
		②年間所要時間	時間	300	200	200	200	—	0.0%
		③人件費（②×@ 4,104 円）(B)	円	1,231,200	820,800	820,800	820,800	—	0.0%
	総費用 (A+B)		円	1,354,484	979,240	979,800	944,300	-3.6%	869,400

5 取組内容	令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等								
	8/24（土）主催：市商工観光 参加者 20名 参加企業等 4社 3/8（土）主催：観光協会 参加者 20名 参加企業等 4社								
	※例年、〇〇魚津と同時開催でツアーを行っているが、本年はありそドーム敷地内でプール建設工事のため中止。								

6 評 価	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目	個別評価の判定	→	今後の方針	
	妥 当 性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である		○現状を維持	事業の拡充
				② 目的の妥当性	1 妥当である		事業の縮小	統合等の検討
				③ 対象の妥当性	1 妥当である		事業の休止	終了又は廃止
	有 効 性	A	A	① 目標達成度	2 目標どおり		方針の説明等	
				② 類似事業の有無	1 なし		産業観光ツアーの実施は市内の産業の周知、認知度を高めることに大変効果があるが、今後としては、ツアーとして採算がとれる旅行商品として内容のブラッシュアップを図る必要がある。そうしたことから観光戦略係や観光協会、受け入れ先の企業等と販売が可能となるような内容となるよう調整を行っていく。	
				③ 上位施策への貢献度	1 高い			
	効 率 性	B	B	① コスト効率	2 普通			
				② 実施主体の適正化	1 適正である			
	結果(総括)	A	A	③ 負担割合の適正化	2 改善の余地あり			
計画どおり事業を実施することが適当								

1 基本項目	事務事業名					観光・物産宣伝事業	担当	課等名	商工観光課	
	予算事業名					観光・物産宣伝事業	係	名	観光戦略係	
	新規・継続区分					継続事業	電話番号	0765-23-1025		
	事務区分					自治事務	会計	一般会計		
	事業期間					開始年度	昭和40年代	終了年度	当面継続	
	総合計画	目標名					目標3. 輝くまち			
		政策名					政策10. 魅力発信と交流のまちづくり			
		施策名					施策22. 観光の振興			
		基本事業名					基本事業22－1. 地域資源のブランド力向上			
	根拠法令									総合計画主な事業
									総合戦略との関連	関連あり（評価対象）
									集中プランとの関連	関連あり（評価対象）
アウトソーシング導入状況									評価対象年度の重点事業	該当

2 事業概要	事業概要	魚津市のみどころ(観光資源やイベントなど)や特産物等をPRすることにより、県内外からの観光客を誘致し、市全体の活性化を目指す。加えて市内のイベント開催及び観光関係諸団体の活動に対して支援を行う。							
	対象	全国民(首都圏、関西圏、中京圏の住民が主なターゲット)、観光関係団体							
	手段 (活動指標)	パンフレット作成、TVや新聞、雑誌等への広告、観光協会・観光ボランティア支援等。首都圏や関西圏など大都市圏での物販、観光PRの実施。							
	意図 (成果指標)	国内外から多くの来訪者が訪れ、宿泊することで地域経済の活性化につながる。							

3 指 標	活動指標名・成果指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			R7年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 広告費(新聞・テレビ等)	円	1,540,434	1,471,327	1,600,000	1,133,820	70.9%	950,000
		② 県外出向宣伝	回	7	8	8	6	75.0%	8
	成果	① 当年観光客入込数	人	1,234,775	1,288,633	1,598,000	1,314,550	82.3%	1,630,000
		② 延べ宿泊客数	人	219,371	227,065	307,000	263,200	85.7%	314,000

4 コスト情報	区 分		単位	R4年度	R5年度	R6年度				R7年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額
	事業費	事業費合計 (A)	円	27,605,756	11,813,472	12,591,000	11,739,214	0	-0.6%	11,545,000
		①国庫支出金	円							
		②県支出金	円							
		③地方債	円							
		④その他(使用料、雑入等)	円	22,635,000	7,600,000	7,000,000	7,000,061		-7.9%	10,000,000
		⑤一般財源	円	4,970,756	4,213,472	5,591,000	4,739,153		12.5%	1,545,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	4	4	4	—	0.0%	4
		②年間所要時間	時間	900	1,400	1,400	1,400	—	0.0%	1,400
		③人件費(②×@ 4,104 円)(B)	円	3,693,600	5,745,600	5,745,600	5,745,600	—	0.0%	5,745,600
	総 費 用 (A+B)		円	31,299,356	17,559,072	18,336,600	17,484,814	0	-0.4%	17,290,600

5 取組内容	令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等									
	・テレビや新聞・雑誌等への広告掲載、TV取材等の協力 ・観光ボランティア(登録者数24名)や蜷気楼研究会等の観光関連団体の支援等を実施 ・じゃんとこい魚津まつり(8/2~4,7)開催、補助金交付 ・よっしゃ来い!!CHOUROKUまつり(5/19)、イルミラージュUOZU(12/6~2/28)、魚津の朝市(毎月第2・4日曜日:23回開催)、えきてん(飲食店等と連携した賑わい創出事業)(8/4,10/6)のイベントに対する補助金交付 ・観光パンフレット(着地型観光パンフレットUO!NAVI)増刷20,000部 ・蜷気楼出現週間予測の提供 ・イメージキャラクターの活用(ミラたん着ぐるみ貸出数14件、ミラたんデザイン使用申請許可数34件)									

6 評 価	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目		個別評価の判定	→	今後の方針	
	妥 当 性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	○現状を維持		事業の拡充	
				② 目的の妥当性	1 妥当である	事業の縮小		統合等の検討	
				③ 対象の妥当性	1 妥当である	事業の休止		終了又は廃止	
	有 効 性	A	A	① 目標達成度	2 目標どおり	方針の説明等			
				② 類似事業の有無	1 なし	北陸新幹線敦賀延伸による関西圏等からの誘客、長野県飯山市をはじめとした近隣県からの誘客など、引き続き効果的な観光PRを実施していくことが重要と考えられる。			
				③ 上位施策への貢献度	1 高い				
	効 率 性	B	B	① コスト効率	2 普通				
				② 実施主体の適正化	1 適正である				
				③ 負担割合の適正化	1 適正である				
	結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当					

1
基本項目

事務事業名	食泊連携事業				担当部署	課等名	商工観光課
予算事業名	食泊連携事業					係名	観光戦略係
新規・継続区分	継続事業					電話番号	0765-23-1025
事務区分	自治事務				予算科目	会計	一般会計
事業期間	開始年度	平成25年度	終了年度	当面継続		款	商工費
総合計画	目標名	目標3. 輝くまち				項	商工費
	政策名	政策10. 魅力発信と交流のまちづくり				目	観光費
	施策名	施策22. 観光の振興				総合計画主な事業	
	基本事業名	基本事業22-1. 地域資源のブランド力向上				総合戦略との関連	
根拠法令						集中プランとの関連	
アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済（ ）					評価対象年度の重点事業	

2 事業概要	事業概要	魚津駅前を中心に賑やかな飲食店街と数多くある宿泊施設が立地するという観光インフラの特性を活かし、食の魅力のPRを実施する。						
	対象	市内飲食店、宿泊施設、観光客						
	手段 (活動指標)	魚津市観光協会、各実施主体等に対し補助又は業務を委託						
	意図 (成果指標)	国内外から多くの来訪者が訪れ、宿泊することで地域経済の活性化につながる。						

3 指 標	活動指標名・成果指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			R7年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 委託費（※R3～5指標名「負担金」）	円	2,235,100	2,999,750	2,200,000	2,194,500	99.8%	0
		②							
	成果	① 当年観光客入込数	人	1,234,775	1,288,633	1,598,000	1,314,550	82.3%	1,630,000
		② 延べ宿泊客数	人	219,371	227,065	307,000	263,200	85.7%	314,000

4 コスト情報	区 分		単位	R4年度	R5年度	R6年度				R7年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額
	事業費 財源内訳	事業費合計 (A)	円	5,044,046	2,999,750	2,200,000	2,194,500	0	-26.8%	0
		①国庫支出金	円	1,117,000	1,499,875	1,000,000	998,250		-33.4%	
		②県支出金	円	936,000						
		③地方債	円							
		④その他（使用料、雑入等）	円				999,000			
		⑤一般財源	円	2,991,046	1,499,875	1,200,000	197,250		-86.8%	
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	1	1	1	—	0.0%	0
		②年間所要時間	時間	900	400	400	400	—	0.0%	0
		③人件費（②×@ 4,104 円）(B)	円	3,693,600	1,641,600	1,641,600	1,641,600	—	0.0%	0
	総 費 用 (A+B)		円	8,737,646	4,641,350	3,841,600	3,836,100	0	-17.3%	0

5 取組内容	令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等									
	・とやま観光推進機構と連携し制作した、市の特産品である「紅ズワイガニ」を軸とした飲食・宿泊プランを発信するLPをリニューアル公開。（飲食プラン造成事業者：既存4店舗、新規3店舗） ・本LPへの誘導を目的としたプロモーション（WEB掲載、パンフレット2,000部作成・配布）を実施。 ・飲食店デジタルマップの拡充。 ・魚津漁業協同組合・富山県鮭鱒漁業協同組合・海の駅蜃気楼等と連携し、11月16・17日、2月22・23日に海の駅蜃気楼において「魚津蜃騒動」を実施し、蒸したてのカニを1杯3,500円で食してもらった実証実験を行い、1日平均で約90杯の売上があった。併せて、市内店舗の鰯の寿司を販売し、PRを行った。									

6 評 価	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目	個別評価の判定	➡	今後の方針	
	妥 当 性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である		○現状を維持	事業の拡充
				② 目的の妥当性	1 妥当である		事業の縮小	統合等の検討
				③ 対象の妥当性	1 妥当である		事業の休止	終了又は廃止
	有 効 性	B	B	① 目標達成度	2 目標どおり		方針の説明等	
				② 類似事業の有無	2 検討の余地あり		魚津の食の魅力と宿泊施設数や立地の良さを生かした食泊連携事業は魚津への誘客のために重要な要素であり、飲食店組合やホテル旅館組合等からの意見や効果等を踏まえ、引き続き、事業内容を精査し進めるべき事業であると考える。	
				③ 上位施策への貢献度	1 高い			
	効 率 性	C	B	① コスト効率	2 普通			
				② 実施主体の適正化	1 適正である			
				③ 負担割合の適正化	1 適正である			
結果(総括)	B	B	補助率及び上限額について見直す余地あり					

1
基本項目

事務事業名	インバウンド等推進事業				担当部署	課等名	商工観光課
予算事業名	インバウンド等推進事業					係名	観光戦略係
新規・継続区分	継続事業					電話番号	0765-23-1025
事務区分	自治事務					会計	一般会計
事業期間	開始年度	平成28年度	終了年度	当面継続		款	商工費
総合計画	目標名	目標3. 輝くまち				項	商工費
	政策名	政策10. 魅力発信と交流のまちづくり				目	観光費
	施策名	施策22. 観光の振興				総合計画主な事業	
	基本事業名	基本事業22-2. 地域の魅力発信体制の整備			総合戦略との関連		
根拠法令					集中プランとの関連		
アウトソーシング導入状況					評価対象年度の重点事業		

2 事業概要	事業概要	台湾を中心とした外国人観光客の増加を図るため、台湾などでの観光PRの実施や広告宣伝活動を実施する。また受入体制の整備を行う。							
	対象	外国人観光客							
	手段 (活動指標)	海外現地でのPR活動数、海外に向けての宣伝活動数							
	意図 (成果指標)	市内外国人延べ宿泊者数							

3 指 標	活動指標名・成果指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			R7年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 海外現地でのPR活動数	回	1	1	1	1	100.0%	1
		② 海外に向けての宣伝活動数	回	2	2	2	2	100.0%	2
	成果	① 市内外国人延べ宿泊者数	人	739	6,314	13,503	11,173	82.7%	13,503
		②							

4 コスト情報	区 分		単位	R4年度	R5年度	R6年度				R7年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額
	事業費 財源内訳	事業費合計 (A)	円	2,300,000	6,700,000	6,700,000	6,700,000	0	0.0%	5,600,000
		①国庫支出金	円							
		②県支出金	円							
		③地方債	円							
		④その他(使用料、雑入等)	円		4,000,000					
		⑤一般財源	円	2,300,000	2,700,000	6,700,000	6,700,000		148.1%	5,600,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	2	2	2	—	0.0%	2
		②年間所要時間	時間	300	600	600	600	—	0.0%	600
		③人件費(②×@ 4,104 円)(B)	円	1,231,200	2,462,400	2,462,400	2,462,400	—	0.0%	2,462,400
	総費用(A+B)		円	3,531,200	9,162,400	9,162,400	9,162,400	0	0.0%	8,062,400

5 取組内容	令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等									
	・台湾との交流・提携事業 魚津まつりへの関係者招待 〇〇魚津・JAうおづ農業祭出展(特産品販売) 新北ランタンフェスティバル参加 東部中学校と板橋国民中学校とのオンライン交流 等 ・台湾向けホームページ管理 ・多言語観光パンフレット(繁体字版)を増刷 ・台湾・香港向け訪日旅行情報ウェブサイトへの繁体字での観光情報掲載(R1~継続) リターゲティング広告配信の実施 ・多言語観光情報サイトへの掲載及び情報発信 WEB・SNSでのメディアプロモーション ・発地型多言語観光パンフレット(英語版)を新たに制作									

6 評 価	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目		個別評価の判定	→	今後の方針	
	妥 当 性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	○現状を維持		事業の拡充	
				② 目的の妥当性	1 妥当である	事業の縮小		統合等の検討	
				③ 対象の妥当性	1 妥当である	事業の休止		終了又は廃止	
	有 効 性	A	A	① 目標達成度	2 目標どおり	方針の説明等			
				② 類似事業の有無	1 なし	当初は台湾にターゲットを絞ってインバウンド事業を実施していたが、台湾を中心としながら他国からも幅広く誘客する必要がある。受入体制整備やPR活動のほか、SNSを活用した情報発信など効果的な取組みも重要である。令和5年度から実施している台湾との交流・提携事業について、継続的に交流を行える仕組みの構築が重要。			
				③ 上位施策への貢献度	1 高い				
	効 率 性	B	B	① コスト効率	2 普通				
				② 実施主体の適正化	2 改善の余地あり				
				③ 負担割合の適正化	1 適正である				
結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当						

1 基本項目	事務事業名				受入体制整備事業	担当部署	課等名	商工観光課	
	予算事業名				受入体制整備事業		係名	観光戦略係	
	新規・継続区分				継続事業		電話番号	0765-23-1025	
	事務区分				自治事務		会計	一般会計	
	事業期間				開始年度		平成元以前	終了年度	当面継続
	総合計画	目標名					目標3. 輝くまち		
		政策名					政策10. 魅力発信と交流のまちづくり		
		施策名					施策22. 観光の振興		
		基本事業名					基本事業22－3. イベント・受け入れ体制の充実		
	根拠法令							総合計画主な事業	記載あり（評価対象）
アウトソーシング導入状況				アウトソーシング導入済（ ）			総合戦略との関連	関連あり（評価対象）	
							集中プランとの関連	関連なし	
							評価対象年度の重点事業	該当	

1 基本項目	事務事業名				サイクリングを活用した賑わい創出事業				担当部署	課等名		商工観光課	
	予算事業名				サイクリングを活用した賑わい創出事業					係名		観光戦略係	
	新規・継続区分				継続事業					電話番号		0765-23-1025	
	事務区分				自治事務				予算科目	会計		一般会計	
	事業期間				開始年度	令和4年度	終了年度	当面継続		款		商工費	
	目標名				目標3. 輝くまち					項		商工費	
	政策名				政策10. 魅力発信と交流のまちづくり					目		観光費	
	施策名				施策22. 観光の振興					総合計画主な事業		記載なし	
	基本事業名				基本事業22-3. イベント・受け入れ体制の充実				総合戦略との関連		関連あり（評価対象）		
	根拠法令								集中プランとの関連		関連なし		
アウトソーシング導入状況				アウトソーシング導入済（ ）				評価対象年度の重点事業		該当			

2 事業概要	事業概要	富山湾岸サイクリングコースがナショナルサイクルルートに指定されたほか、市内周遊ルートが整備されたことから、気軽にサイクリングを楽しめるよう環境整備を行うとともに、市内サイクリングコースの利用促進に向けた事業を実施する。							
	対象	全国や国外、本市を訪れる観光客							
	手段 (活動指標)	レンタサイクルの整備・管理、パンフレットやWeb等を活用したサイクリング情報の発信							
	意図 (成果指標)	県外からの観光客の増加および新川地域での観光客の滞在時間の増加							

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			R7年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① レンタサイクルステーション設置数	箇所	5	5	5	4	80.0%	4
		② レンタサイクル事業委託金額	円	548,000	547,400	635,000	625,000	98.4%	628,000
	成果	① レンタサイクル利用台数	台	1,210	1,208	1,500	1,590	106.0%	1,600
		② レンタサイクル利用料収入	円	533,400	586,700	937,000	838,970	89.5%	988,000

4 コスト情報	区 分		単位	R4年度	R5年度	R6年度				R7年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額
	事業費 財源内訳	事業費合計 (A)	円	6,889,764	2,643,900	1,549,000	1,397,685	0	-47.1%	1,416,000
		①国庫支出金	円	3,356,000	948,750					
		②県支出金	円	500,000	500,000					
		③地方債	円							
		④その他(使用料、雑入等)	円		986,700	937,000	838,970		-15.0%	988,000
		⑤一般財源	円	3,033,764	208,450	612,000	558,715		168.0%	428,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	1	1	1	—	0.0%	1
		②年間所要時間	時間	600	800	800	800	—	0.0%	800
		③人件費(②×@ 4,104 円)(B)	円	2,462,400	3,283,200	3,283,200	3,283,200	—	0.0%	3,283,200
	総 費 用 (A+B)		円	9,352,164	5,927,100	4,832,200	4,680,885	0	-21.0%	4,699,200

5 取組内容	令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等									
	・ レンタサイクル「みらくる」(54台)の貸出取扱委託、維持管理 (貸出ステーション4カ所：魚津駅観光案内所、海の駅蟹気楼、金太郎温泉、片貝山ノ守キャンプ場) ・ 専用ホームページの維持管理 ・ 経年劣化により、バッテリー(10個)の交換									

6 評 価	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目		個別評価の判定	➡	今後の方針	
	妥 当 性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	○現状を維持		事業の拡充	
				② 目的の妥当性	1 妥当である	事業の縮小		統合等の検討	
				③ 対象の妥当性	1 妥当である	事業の休止		終了又は廃止	
	有 効 性	B	B	① 目標達成度	2 目標どおり	方針の説明等			
				② 類似事業の有無	1 なし	富山湾岸サイクリングコースのナショナルサイクルルート指定をきっかけとしたサイクルツーリズムの推進は、賑わい創出及び交流人口の増加に資するものであり、レンタサイクル事業の実施体制を含め、効果的な事業実施を検討しながら進めていくべき事業であると考えている。			
				③ 上位施策への貢献度	2 普通				
	効 率 性	B	B	① コスト効率	2 普通				
				② 実施主体の適正化	2 改善の余地あり				
				③ 負担割合の適正化	1 適正である				
結果(総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり						

1 基本項目	事務事業名				広域観光連携事業				担当部署	課等名		商工観光課		
	予算事業名				広域観光連携事業					係名		観光戦略係		
	新規・継続区分				継続事業					電話番号		0765-23-1025		
	事務区分				自治事務					会計		一般会計		
	事業期間				開始年度	平成11年度	終了年度	当面継続		款		商工費		
	総合計画	目標名				目標3. 輝くまち				項		商工費		
		政策名				政策10. 魅力発信と交流のまちづくり				目		観光費		
		施策名				施策22. 観光の振興				総合計画主な事業				
		基本事業名				基本事業22-4. 広域観光ネットワークの振興				総合戦略との関連				
	根拠法令									集中プランとの関連				
アウトソーシング導入状況								評価対象年度の重点事業						
								関連なし						
								該当						

2 事業概要	事業概要	富山県、近隣の自治体、民間事業者、とやま観光推進機構、富山湾・黒部峡谷・越中にかわ観光圏協議会と連携して、国外や県外へ観光客の誘客に向けた効果的なPRを行う。							
	対象	全国や国外、本市を訪れる観光客							
	手段（活動指標）	首都圏等県外・国外での観光宣伝活動。地元や首都圏等での観光イベントの開催、WEB等を活用したプロモーション							
	意図（成果指標）	県外からの観光客の増加および新川地域での観光客の滞在時間の増加							

3 指 標	活動指標名・成果指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			R7年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 北陸国際観光テーマ地区協議会負担金額	円	100,000	100,000	100,000	100,000	100.0%	100,000
		② 立山黒部自然環境保全・国際観光促進協議会負担金額	円	50,000	50,000	50,000	50,000	100.0%	50,000
	成果	① 県外観光客の入込数	人	241,725	282,657	350,000	289,725	82.8%	358,600
		②							

4 コスト情報	区 分		単位	R4年度	R5年度	R6年度				R7年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額
	事業費	事業費合計 (A)	円	6,564,480	6,198,880	6,738,000	5,805,000	0	-6.4%	4,829,000
		①国庫支出金	円	1,381,000	1,385,000	1,866,000	1,577,000		13.9%	837,000
		②県支出金	円							
		③地方債	円							
		④その他（使用料、雑入等）	円	1,000,000						
		⑤一般財源	円	4,183,480	4,813,880	4,872,000	4,228,000		-12.2%	3,992,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	4	4	4	—	0.0%	4
		②年間所要時間	時間	1,600	2,100	2,100	2,100	—	0.0%	2,100
		③人件費（②×@ 4,104 円）(B)	円	6,566,400	8,618,400	8,618,400	8,618,400	—	0.0%	8,618,400
	総 費 用 (A+B)		円	13,130,880	14,817,280	15,356,400	14,423,400	0	-2.7%	13,447,400

5 取 組 内 容	令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等									
	・にいかわ観光圏協議会事業への参画（R6. 6. 27定時社員総会、負担金拠出、国内外でのプロモーション活動（9/26～29ツーリズムEXPO（東京ビックサイト）商談14社、1/25～26イオンモール松本出向宣伝、10/1～5台湾セールスコール10社、11/19～23シンガポールセールスコール12社）、情報発信） ・北陸デスティネーションキャンペーン事業（にいかわ観光圏協議会と連携しイベントへの参画（10/5. 6オープニングイベント（加賀）、11/3. 4食のイベント（氷見））、メディアへのプロモーション活動 ・北陸新幹線敦賀延伸に伴う魚津市観光プロモーション業務の実施（3/8モニターツアー12名） ・とやま観光推進機構との連携事業（負担金拠出、日本版DMOとしての活動・新旅行造成市町村タイアップ事業の実施） ・立山黒部自然環境保全・国際観光促進協議会、北陸国際観光テーマ地区協議会、美しい富山湾クラブ、山・鉾・屋台行事観光推進ネットワークに参画・協力 ・富山湾岸サイクリング2024（開催日：R6. 4. 21、メイン会場：氷見市） ・にいかわ観光圏協議会（事務局：黒部市）と新川地域観光開発協議会（事務局：魚津市）について組織のあり方を検討し、令和6年5月28日の総会をもって、新川地域観光開発協議会を発展的に解散し、担ってきた事業を観光圏へ引き継ぐ。									

6 評 価	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目		個別評価の判定	→	今後の方針	
	妥 当 性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	○現状を維持		事業の拡充	
				② 目的の妥当性	1 妥当である	事業の縮小		統合等の検討	
				③ 対象の妥当性	1 妥当である	事業の休止		終了又は廃止	
	有 効 性	A	A	① 目標達成度	2 目標どおり	方針の説明等			
				② 類似事業の有無	1 なし	観光客の動線は広域化しており、スケールメリットを生かした様々な連携が必要不可欠である。市、県及び県を超えた事業連携や、民間事業者との連携を進めていくことも重要であり、より効果的な取り組みを検討するべきである。			
				③ 上位施策への貢献度	1 高い				
	効 率 性	A	A	① コスト効率	1 高い				
				② 実施主体の適正化	1 適正である				
				③ 負担割合の適正化	1 適正である				
結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当						